

入館
無料



愛知・名古屋 戦争に関する資料館

名古屋市内重要軍需工場場圖

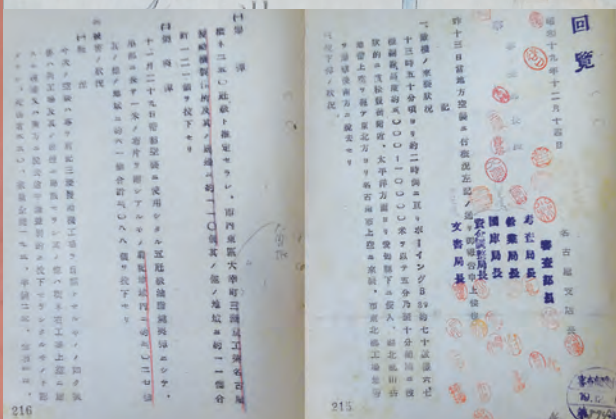
極秘

企画展示

空襲と企業

—愛知・名古屋の工場防空政策—

2024 **11/15** 金 — 2025 **3/9** 日



昭和十九年戦災被害状況各地報告(札幌一鹿児島)
1944(昭和19)年12月14日
名古屋支店長から審査部長宛【日本銀行金融研究所アーカイブ所蔵】



名古屋市中空襲のB25の写真
【愛知・名古屋 戦争に関する資料館所蔵】

戦前、航空機生産の一大拠点であった名古屋。その名古屋が狙われた空襲は、60回以上に及びました。戦時中、愛知県と名古屋市は、国策に沿って、爆撃目標となる軍需・航空機工業に係る重要工場の防空政策を決定し、延焼を防ぐための建物疎開空地を強力に進めたことで、防空都市名古屋と言われるまでになりました。

1944~45(昭和19~20)年、空襲が頻度と激さを増していく中、航空機企業が工場疎開を余儀なくされていく過程を紹介します。

場所	愛知・名古屋 戦争に関する資料館 名古屋市中区丸の内三丁目4番13号 愛知県庁大津橋分室1階
開催時間	午前10時~午後4時
休館日	月曜日・火曜日(祝日の場合は開館し、直後の平日が休館) 年末年始(12月29日~1月3日)
主催	戦争に関する資料館運営協議会(愛知県と名古屋市が共同で設置)



「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」は、県民の皆様から寄せられた、戦争に関する実物資料の展示を行うことにより、戦争体験を次の世代に引き継ぎ、戦争の残した教訓や平和の大切さを県民が学ぶことにより、平和を希求する豊かな心を育み、平和な社会の発展に寄与することを目的としています。



《 展示コーナーのご案内 》 「県民の戦争体験」と「戦争に関わる地域史」を軸とする地域性を重視した展示コーナーを配し、資料を通じて来館者自らが平和や戦争について考えていただく展示としています。

2 県民の戦争体験Ⅰ（銃後のくらし）



このコーナーでは、戦時体制下のこの地域における県民の生活や学校教育などの資料を展示しています。戦争が人々の暮らしに及ぼした影響を紹介します。

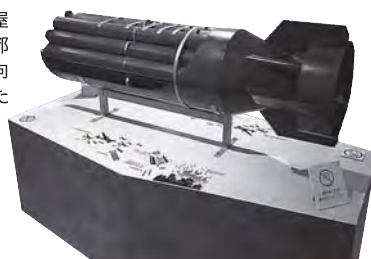
3 県民の戦争体験Ⅱ（軍隊・戦地）



このコーナーでは、県民の軍隊生活や戦場体験などの資料を展示しています。当時の人々にとって軍隊に入ることや戦場に立つことがどのようなものであったかを紹介します。

1 戦争に関わる地域史

このコーナーでは、名古屋空襲を中心に、戦前の都市化・工業化、戦中の動向など、この地域で起こった出来事の資料を展示しています。



このコーナーでは、戦後改革、戦地からの復員、復興とまちづくりなどの資料を展示しています。終戦後の地域の様子や名古屋の街の変遷を紹介します。

4 戦後の地域史



5 企画コーナー



《 団体見学 》 (要予約)

当館では、5名から10名までの団体による見学を受け付けています。ご希望に応じて、展示資料等の説明も可能です。(30日前までにお申し込みください。)

《 戦争体験ビデオの貸出 》 (要予約)

戦争体験のない県民が、戦争の悲惨さや平和の大切さを実感するための貴重な資料として、戦争体験者の協力を得て、戦争体験ビデオ(DVD)を制作し、貸出しを行っています。

《 資料の寄贈について 》

当館では、県民の皆様から寄贈された実物資料を中心に展示を行っています。寄贈のご相談は、「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」までご連絡ください。



愛知・名古屋 戦争に関する資料館

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4番13号 愛知県庁大津橋分室 1階
TEL : (052)957-3090 FAX : (052)957-3091

愛知・名古屋 戦争に関する資料館 検索 <https://www.pref.aichi.jp/kenmin-soumu/chosakai/>

※当館の展示資料(映像資料を除く)は、非営利かつ私的使用の目的での写真撮影が可能です。



[交通案内]

- 地下鉄名城線「名古屋城」4番出口から南へ徒歩約5分
 - 地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」1番出口から北へ徒歩約8分
 - 市バス「大津橋」から徒歩約1分
- ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。